

資料 1.6.2

胃瘻カテーテル交換を受けられた方へ

鶴岡協立病院

- 胃瘻カテーテル交換後にはまれではありますが合併症がおこることがあります。
- 異常がみられた際には速やかに病院へ連絡してください。

1. 出血

当日の少量の出血は、大部分自然に止血します。

ガーゼやティッシュがぐっしょりとなる場合はご連絡ください。

吐血がみられた場合にはご連絡の上病院へおいで下さい。

2. 腹膜炎

胃瘻カテーテル交換時の最も怖い合併症です。

細心の注意を払って交換を実施しますがまれに発生する可能性があります。

以下のような症状は異常です。

ただちに注入を中止し、ご連絡の上、病院へおいで下さい。

①顔面蒼白顔色不良②唸り声③普段と違う腹痛④発熱
⑤冷汗⑥ハーハー呼吸（浅く早い呼吸）⑦血圧低下

連絡先電話番号 ●●●●●●

「●月●日胃瘻交換した〇〇です」と伝えてください

<<注意点>>

交換後の初回の注入は白湯から開始してください。

白湯をゆっくり注入、滴下し、5～10分ほど様子を観察してください。

変化がなければ、通常のように注入を継続してください。